



発行 令和5年7月14日

第137号

編集 ときわ阿賀野支部広報委員会

題字 元支部長 小泉豊信氏

印刷 阿部印刷株式会社



「地域の魅力が詰まった 道の駅あがの」  
 (写真提供 京ヶ瀬小学校 大石 康範)



### 支部長からの提言

## 志と輝き

支部長 伊藤 浩

新しい組織を創り出そうとする時、集まった者の意志を統一することで非常に大きなエネルギーを生み出します。そのエネルギーが思いをもつことで、組織が創られます。生み出す苦しみはあるかもしれませんが、大きな目標に向かう時には前向きで大きな力が発揮されます。しかし逆に、時間が経つことで組織発足のころの意義、意味や志は忘れ去られ、組織そのものに勢いがなくなっていくことがよく見られます。それだけ組織を長い時間存続させることは容易ではないといえます。

ときわ会は今年度150周年を迎えます。ときわ会にとって節目の年です。私たち一人一人がときわ人であることを考えるチャンスを貰うことができました。

ときわ会と言えば、「ときわ会本旨」です。研修会で唱和する文は何度も読んでいますので馴染みのある文言ですが、その文の説明書きを今一度、改め

て読むと教師として教育に携わる重大さと責任の重さで身が引き締め、教育に向かう心の炎が燃え上がってきます。まさにときわ会の志がここに 있습니다。支部の皆さんにも是非もう一度確認してほしい内容です。150年間という長い歴史の中で数多くの先人たちがときわ会を研修団体として揺るぎないものにしてくれました。この先を考えるにあたって、今回の周年研修に関わったことは大きな意義や意味のあることだと考えます。阿賀野支部の会員一人一人は、どんな志をもつことができたでしょうか？ まさに、会員一人一人がもった志こそが、ときわ会の財産となり、この先のときわ会の方向を決めていくものとなります。児童生徒からも、保護者からも、社会からも認められ、愛されるときわ会。その実現には、会員一人一人が輝きを放つ以外ありません。何より子どもたちのために。そして、自分自身のためにも輝いてください。ときわ会は輝きを放つサポートをします。